

2019年度戦略的芸術文化創造推進事業 課題別採択一覧

(イ) 我が国の文化芸術による国家ブランドの構築と経済的価値等の創出や国際発信力を高めるための新たな展開に関する取組

No	申請団体	事業名	概要
1	株式会社北前船	2020 鼓童 × ロベール・ルパージュ KODO NEW BEAT VISION プロジェクト	佐渡島を拠点に世界中のあらゆる人々に日本の音を届けてきた太鼓芸術集団「鼓童」と、今世紀における最も重要な舞台演出家の一人ともいわれるカナダのロベール・ルパージュが、21世紀の人類を幸せにする舞台芸術作品を共同で創り出すプロジェクト。2018～2019年に作品を具体化し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて東京での初演、国内巡回公演を行う。
2	公益社団法人広島交響楽協会	ベートーヴェン生誕250年プロジェクト/2016-2020 and beyond 広島交響楽団 Music for Peace コンサート	2020年東京オリンピック・パラリンピックとその後の文化レガシー創出のため、世界のトップアーティストや、オーケストラメンバーを招聘し、優れた公演企画により我が国の文化芸術と平和メッセージを世界に発信する。2020年には数十名の海外演奏家と共に、生誕250年になるベートーヴェンの交響曲第9番「合唱」を取り上げ、人類愛を歌う本作品により文化の祭典であるオリンピック・パラリンピックを盛り上げる。
3	上野の森バレエホリデイ実行委員会	＜上野の森バレエホリデイ＞	国内の一流バレエ団体やオーケストラ、メディア等で構成された実行委員会が、芸術の殿堂、東京文化会館や国立西洋美術館、東京国立博物館などの上野の社を舞台に、本格的なバレエ公演のほか、20余のイベントを実施。上野を訪れる多くの国内外の観光客やファミリー層が楽しめる、無料で見ることが出来る屋外特設ステージにおける創作発表や、巨大モニターでバレエの映像を流すライブビューイングなど広くバレエ芸術に触れる機会を提供する。将来的には活動を拡大し、企業との連動など多角的展開を計画。本事業を通じて、バレエの普及・振興を図り、新たなビジネスモデルを構築する。
4	公益財団法人東京二期会	日本のオペラから世界のオペラへ ～2018年から2020年を経てその先へ～	「日本から発信する世界レベルのオペラ」創造のため、5年間に渡っての国際化に向けてのプロジェクトを海外劇場と共同制作する。本年度は、東京でのワールドプレミアの後ドイツ、デンマークでの上演が予定される『蝶々夫人』公演を中心に、様々な仕掛けを実施する。本事業を通じて、高いスキルがありながらも活躍の場が日本に限られていたスタッフや歌手といった人材の「輸出」や、国内企業にとどまっていた協賛企業を世界に拡大すること等が期待できる。
5	公益財団法人日本オペラ振興会	ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン 2019	世界的オペラ指揮者ファビオ・ルイーギが音楽監督を務めるヴァッレ・ディトリア（マルティナー・フランク）音楽祭と提携し、昨年度大成功を収めた「第1回 ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン」に引き続き、アレクサンドロ・スカルラッティのパロックオペラ「貞節の勝利」をはじめ、ベルカント・コンサート、シンポジウム、公開講座、人材育成マスタークラスなど、新時代を切り開くオペラフェスティバルを開催。日本オペラ界の更なる発展を目指す。
6	公益財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場によるオペラを通じた国家ブランドの構築と国際発信力向上事業	日本発オペラの国際展開のため、世界水準のオペラ作品や日本独自の良質な作品を制作するとともに、海外上演に必要な英語字幕等に対する試みや、公演資料を整備する。更に積極的に国際広報宣伝活動を行い、日本発の良質なオペラの国際展開を通じて国家ブランドの構築に資する。
7	公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団	日本発バレエによるインパクト創出事業	国民的RPG（ロールプレイングゲーム）とバレエの革新的なコラボレーションによって誕生したバレエ「ドラゴンクエスト」を、現代的でクリエイティブな舞台芸術として全世界に向けて発信する。今年度はヨーロッパ最大の日本文化イベントJAPAN EXPO（パリ）にバレエ団体として初めて出演し、日本生まれの新しいエンターテインメントとして本作を紹介、後のインパウンドに繋げることを狙う。長期的には、国産バレエの輸出を視野に入れ、文化芸術による国家ブランドの確立に寄与することを目指す。
8	公益財団法人 日本舞台芸術振興会	ゴールドメダル・プロジェクト	『くるみ割り人形』の新制作を中心とした東京バレエ団の創立55周年記念事業に取り組むことによって、東京バレエ団の「価値」を一挙に数段階アップさせる。世界最高水準のブランド価値を確立し公演数を増やすこと、世界に通じるコンテンツになりうる新しいレパートリーに取り組むこと、国内のダンサーたちを取り巻く環境を改善することの3つの課題に取り組む。
9	公益財団法人東京都歴史文化財団	“Born Creative” Festival 2019（ボンクリ・フェス2019）	あらゆる人々に生まれながらにもっている創造性に気づかせ、人間の創造活動を活性化するために音楽が果たす役割を広めていく。この企画を通して現代音楽に対する固定観念を打ち破り、親しみやすい形式で創造性あふれる音楽を提供することにより、多くの人々が「新しい音楽」に親しみ、芸術創造活動の基盤として欠かせない聴衆の開拓を目指す。
10	公益財団法人読売日本交響楽団	在留外国人及び訪日外国人の聴衆を獲得するための演奏会運営の新しいあり方に関する事業	日本の文化芸術の水準の高さを国際的に効果的に発信し、新たな経済的価値を創出する。演奏会に多くの外国人を呼び込むこと、「読響」という個別のオーケストラの認知度を向上させること、そのための効果的な演奏会運営の手法を確立させることを目標とする。
11	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館	ないじえる芸術共創ラボ	豊富な古典籍を有効活用して、新たな芸術的価値を創出し、その魅力を国内外に発信する。日本古典文学研究を専門にしている古典インタプリタが中心となり、著名なアーティストによるアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の推進と成果発表イベントの開催、AR・VRの最新技術を活用した古典籍の新たな活用方法の提示など、教育機関、研究機関以外に企業、自治体とも連携し、情報発信を行いながら、古典籍の幅広い活用を促進する。
12	東京アート&ライシティ構想実行委員会	東京アート&ライシティ プロジェクト	東京五輪を契機に、日本の多様で多彩な伝統から現代までの文化芸術を新たな観光資源として定着させ、活性化することを目的とする。日比谷、銀座、築地は、伝統から現代まで多様な芸術芸術、美術、映画の世界的に稀にみる集積地であり、トップレベルの施設や団体が結集している。主催事業を通じて様々な試みをして連携し、大都市・東京の芸術の魅力国内外に多言語で発信し、新たなまちのスタイルを世界に提案する。
13	みんなのしるし合同会社	アジア神々の系譜 ～すべてが民族になる～ Encounter of the Asian spirits ～All folks gather one～	アジアの芸能を伝承する若者と地域の市民が参加し、被災の記憶と地域の民話・逸話をモチーフとした舞台作品を創作。2020年の文化プログラムにおいては、世界に誇る郷土芸能が豊かに存在する三陸沿岸と、つながりを持つアジアの民俗芸能を現代と融合した壮大な舞台作品（屋外ミュージカル）を上演する。2021年以降は、三陸沿岸のホテルのホールを中心にナイト・エンターテインメントの確立を目指す。

【応募・採択状況】	
応募件数	31件
採択件数	13件
採択率	41.9%

2019年度戦略的芸術文化創造推進事業 課題別採択一覧

(ii) 地方や離島・へき地等において、優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会と社会的価値等を創出する取組

No	申請団体	事業名	概要
1	公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	「被災地に音楽を」音楽による東北地方の震災復興支援プロジェクト	東北地方沿岸部の被災コミュニティの復興を、当該地域の文化団体（伝統芸能、吹奏楽、合唱等）の支援を通じて促進する。被災地の伝統芸能や音楽などの文化活動と日本フィル、パレエ団の一流の芸術が一体となった大規模コンサートを開催し、団体間の相互交流の機会や情報発信の機会を創出。各団体の活動の活性化を通じて被災地の文化による復興を目指す。また、本事業を国内外へと積極的に発信することで被災地の現状を広く知らせていく。
2	株式会社 東京演劇集団風	舞台芸術による地域活性化事業【未来誕生】	離島・へき地、被災地において、地域的な条件や障害の有無、経済環境などにかかわらず全ての人が本格的な演劇公演・芸術活動に鑑賞参画する機会を継続的に創出。今年度は熊本県被災地、長崎県島しょ部において、地域・学校の現状に即し2演目を組み合わせ演劇公演を行う他、子供たちが町を舞台に芸術家として活動する体験プログラムを実施する。演劇の力を教育・まちづくり・被災地の復興に活かし、文化芸術の社会的価値を創出し実証する。
3	株式会社サイ	肝付・与論・徳之島 ダンスシアター公演を活用した地域文化育成プロジェクト	地方においてハイレベルな芸術鑑賞機会を拡大し、文化芸術の地域格差解消を目的とする。市民の文化的生活の向上のため舞台芸術公演の鑑賞という文化を根付かせる。更に地域住民が主となって公演制作を行えるようにしていく。また、各地域の持つ文化の再発見・構築も目的のひとつである。今年度は与論島・徳之島町・肝付町にてワークショップ・公演を行う。
4	ウイマム文化芸術実行委員会	ウイマム文化芸術プロジェクト - Uyum Project -	2020年に国立アイヌ民族博物館の開館を迎えるにあたり、所在地の白老町周辺地域の多様な文化資源を活用した国際的な芸術文化拠点を構築し、独自の文化を発信していく。アイヌ文化に関わる場所を歩きながら生活環境等をリサーチするフィールドワークを開催、国内外からアーティストを招聘し、アーティスト・イン・レジデンスで作品を制作・発表したり、アーティストが小学校内にアトリエを設け、小学生や地域住民等との出会いから作品制作を行い発表するアーティスト・イン・スクールを実施する。
5	有限会社ひとみ座	島からの発信事業『「郷土芸能によるステージ」と「人形劇ひょっこりひょうたん島」』	島しょ部に残る郷土芸能の実践と解説を島全体規模の公演として開催。島の歴史も踏まえた地域文化全体を内外に紹介する。また、島生活をモデルとした人形劇「ひょっこりひょうたん島」の舞台版を併演し、国内最高レベルの人形劇を観劇する機会を創出。島内の文化芸術活動の活性化に繋げていく。
6	公益社団法人落語芸術協会	南西諸島寄席演芸公演	笑いを通じた明るい社会の創造のため、鑑賞機会が限られる島しょ部において寄席芸能公演を実施する。今年度は固有の文化を有し実演芸能が根付いているものの、プロ演者による形を築いた寄席芸能公演がほとんどない、奄美群島の与論島、沖縄県大宜味村、八重山列島与那国島・西表島にて公演を行う。
7	三陸国際芸術推進委員会	三陸国際芸術推進事業2019	三陸の郷土芸能を核とし、現代分野のアートやパフォーマンスとの交流促進、三陸鉄道やみちのく潮風トレイルとの連携、地元物産の振興、防災教育など多分野にわたる事業と連携し、三陸の国際化を目指し、外国人観光客の増加と、三陸全域で芸能を習うことが出来るネットワーク作り、世界のアーティストが三陸を訪れ滞在するアーティスト・イン・レジデンスなどの方法で、国際化を目指す。芸能団体だけではなく、地元の観光産業や企業とも連携し、三陸全体で新しい観光産業を作ることを目指す。
8	一般社団法人全国専門人形劇団協議会	沖縄地方幼稚園・保育園等「幼児対象専門人形劇による巡回公演」	就学前児童に対する人形劇鑑賞機会の向上と全国格差是正を目指して、上質な人形作品の派遣を実施。今年度は人形劇鑑賞機会に最も乏しいと考えられる沖縄県において、幼稚園・保育園等に幼児の鑑賞に特化した優れた専門人形劇公演を派遣する。
9	公益社団法人 日本児童青少年演劇協会	全国地方・離島・へき地「児童青少年舞台芸術」巡回公演	子どもたちに優れた生の児童青少年舞台芸術を鑑賞・参画する機会を提供することで、豊かな人間性を涵養し、創造力・感性の育成を図る。今年度は22府県36回公演を行う。
10	クリエイティブ・アート実行委員会	隠岐諸島におけるインテグレイテッドダンスカンパニー響-Kyoのダンス公演とワークショップ	車椅子のダンサーを含むインテグレイテッドダンスカンパニー響-Kyoのダンス公演を行うことで、新しいコンテンポラリーダンスを紹介。同時に障害のあるダンサー連とのダンス・ワークショップも行う。島根県西ノ島町と海士町でサイトスペシフィックダンスの専門家アティーナ・ヴァーラ氏を招き、離島ならではの歴史や景観を活かしたダンス公演の可能性を図る。今年は島の民舞からコンテンポラリー・ダンスを創る。

【応募・採択状況】	
応募件数	27件
採択件数	10件
採択率	37.0%

2019年度戦略的芸術文化創造推進事業 協力者会議委員名簿

【課題】

- (i) 我が国の文化芸術による国家ブランドの構築と経済的価値等の創出や国際発信力を高めるための新たな展開に関する取組
- (ii) 地方や離島・へき地等において、優れた文化芸術活動を鑑賞・参画する機会と社会的価値等を創出する取組

(五十音順)

石田 麻子	昭和音楽大学教授，独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムディレクター（調査研究）
太下 義之	三菱 UFJ 総研，東京芸術文化評議会評議員
柴田 英杞	全国公立文化施設協会アドバイザー，独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムディレクター（演劇）
長野 由紀	舞踊評論家
村田 暁彦	国際交流基金コミュニケーションセンター 部長